

KOMEI ZUSHI

逗子市議会公明党
逗子公明だより 2022年 第1号



逗子市議会議員

たばた智子通信

逗子市議会副議長 教育民生常任委員

HP: <https://www.komei.or.jp/km/zushi-tomoko-tabata/>
Mail: tabatomo.victory2014@gmail.com

市政へのご意見・ご要望がありましたらお寄せください

逗子市議会 令和4年
第1回定例会から

令和4年度 逗子市一般会計予算が成立

健全な財政運営を継続する

平成29年に1億円まで減少した財政調整基金は、財政対策プログラムによる人件費及び事務事業費等の見直しが図られて、令和3年度末には約23億円になりました。さらに老朽化が進む公共施設の整備のために必要な財源として公共公益施設整備基金を10億円積み立てています。



市役所一階
インフォメーション

○市立小学校の水泳授業が 市民交流センターのプールにて実施

市立小学校のプールの老朽化が進み、昨年は池子小学校のプールが故障し、運動公園のプールを利用することになった際に、送迎バスを導入しても、プールの水道代など維持管理費より予算を抑えることができると、たばた智子は提案していました。そのことがきっかけとなり、今後想定

されるプールの再整備費や維持管理費よりも予算を抑え、天候に左右されない市民交流センターのプールを水泳授業に送迎バスを利用して実施することになりました。



交流センターのプールで
楽しい水泳授業を

○中学校給食がボックスランチ式から温かい食缶方式に

中学校給食の配置の要望に応えて平成26年にボックスランチ方式の給食が開始されましたが、当初より常に喫食率や残食率が問題となっていました。ボックスランチ方式は冷却する必要があり温かい状態で提供できない、量の調節ができないことを解決するために、令和4年9月より、食缶方式に変更し、温かく、生徒一人ひとり適切な量による提供が開始されます。



「チャレンジ!カーボンニュートラル2050」を宣言

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスや太陽光発電設備などの再エネ・省エネ・蓄エネ機器や電気自動車用充給電器などの購入に補助をするカーボンニュートラル推進支援制度を設け、脱炭素に向けた取り組みの更なる充実・強化を図ります。



環境省カーボン
ニュートラルの
ロゴマーク

○3歳児健診に視覚検査機器を 導入し、視覚障害を早期発見

たばた智子の要望が反映

子どもの視力は6歳ぐらいまでに大人並みの視力になります。このため視覚異常を早期に発見し適切な治療につなげるため、三歳児健診での視覚検査は大切と言われています。今まででは集団健診の前に、各家庭で保護者が検査をしていましたが、簡単に的確に検査できる検査機器「スポットビジョンスクリーナー」を導入します。



スポットビジョンスクリーナー

○生活に困窮している女性へ 生理用品配布が本格始動

経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいるという「生理の貧困」について問題視したたばた智子は、小中学校や市役所などで生理用品の無償配布をするように要望していました。昨年11月より試験的に配布を開始していましたが、利用者がいることがわかり、令和4年度の予算に配布用の経費を導入し、市役所窓口や小中学校のトイレに配置されることになりました。



女性職員が丁寧に対応してくれます

産前産後に丸ごと
サポートしてくれる
産後ドゥーラ



<産後ドゥーラとは>「ドゥーラ」とはギリシャ語で「他の女性に寄り添い、支援する経験豊かな女性」を意味します。産前産後の女性を「丸ごと」サポートしようと一般社団法人ドゥーラ協会が民間資格として立ち上げたものです。産前産後のご家庭に伺い、食事作りや掃除、洗濯、赤ちゃんのお世話など幅広いサポートを提供します。

産後ケア事業に 産後ドゥーラの派遣を

令和4年度より、産後ケア事業にご自宅で授乳方法の指導や乳房ケア、育児の相談ができる助産師のアウトリーチ型支援を導入することになりました。しかしながら、夜泣きで睡眠不足である、抱っこで腱鞘炎になつた、夫が子育ての大変さを理解してくれないなど体力的、精神的な部分の相談が多く寄せられています。

子育て・家事という仕事は、365日休み無し。第一養育者（主に母親）は、常に拘束されているため、育児不安になりやすいと言われています。

新型コロナウイルス感染症の流行のために里帰りができなくなるなど、親族等からの育儿・家事援助等が受けられないケースが増えています。

そのためたばた智子は、相談や指導だけでなく、家事・育儿等の支援ができる産後ドゥーラの派遣が必要であると早期導入を強く主張しました。

オミクロン株の新型コロナウイルスにより日々過去最多の感染拡大が続いており、市民生活に大きな不安感と影響を及ぼしています。たばた智子は、3回目コロナワクチンの更なる前倒し体制整備と自宅療養者や濃厚接触者など自主的に判断をする必要性がえたことなどを鑑み、新型コロナウイルス感染症に関する情報の周知について要望しました。



市長へ 3回目のコロナワクチン接種の早期実施を要望

運動公園のマンホールトイレ



運動公園のマンホールトイレー基目が完成

たばた智子
の実績
から



南台のガードパイプ
土台が浮き上がっています

沼間南台のフェンス修理